



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社

コード番号 9629 URL <http://www.pca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 佐藤 文昭

TEL 03-5211-2711

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,943	19.4	△243	—	△228	—	△161	—
25年3月期第2四半期	3,302	7.1	△124	—	△107	—	△64	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △36百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	△23.52	—	
25年3月期第2四半期	△9.35	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14,281	—	10,872	—	75.2	—	1,568.34	—
25年3月期	14,849	—	11,125	—	74.1	—	1,604.94	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,745百万円 25年3月期 10,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	31.00	31.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,166	21.4	457	29.1	491	28.0	252	38.9	36.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正については、平成25年10月23日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	7,700,000 株	25年3月期	7,700,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	848,566 株	25年3月期	848,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	6,851,634 株	25年3月期2Q	6,852,251 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況等の変化により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、昨年末の政権交代を機に株高、円安に大きく振れ、デフレ脱却にいくつもの矢が放たれ、景気は回復基調に向かいつつあります。ただ景気回復に地域格差があり、地方では都市部ほどの景気回復の実感はないとも言われております。また消費税改正が景気に水を差すという見方もあるものの、悲願の東京オリンピックの招致も決まり、日本経済が順調に回復すべく動き始めるものと思われま

す。
情報サービス産業においては、大きなトピックスとして、潜在需要1,400万台といわれるWindows XP マイグレーション（＝システム、プログラム、データなどの移行作業）効果による従来型PCのリプレイスが大きな成果を生み出し、システムリプレイスもその恩恵にあずかりました。デバイスにおいては、スマートフォン、タブレット型端末の需要が高まり、いよいよクラウド時代の到来を実感させております。いよいよ下半期からは税制改正の本命である消費税改正の特需効果も見込まれ、かなり明るい材料が揃ってまいりました。

当該期間における当社の業績については、クラウドサービスの「PCA クラウド」の売上が順調に伸び、業績に貢献し始めてまいりました。売り方も多様化され、月額課金の「イニシャル0プラン」に加え、月額料金を1年、3年、5年のバックにした「プリペイドプラン」も大きく売上に貢献いたしました。クラウドサービスでもカスタマイズ可能な「クラウドAPI」の実装とともに、新たに最大72ユーザーまで同時使用が可能なライセンス体系をリリースし、中小企業のみならず中堅企業への提案の幅が広がりました。業務ソフト分野でのクラウドサービスに先鞭をつけた我が社は、下半期からはサービス時間延長も視野に入れ、インターネット時代の業務ソフトのあり方を提案し続けております。

オンプレミス（＝従来型）製品もTVコマーシャル、新聞等紙媒体のメディアミックスによるブランド浸透が図られつつあり、クラウドサービスとの相乗効果も相まって、スタンドアロン、ネットワーク製品ともに新規、バージョンアップとも順調に売上を伸ばし、業績に貢献しております。特にバージョンアップは、消費税改正に伴い前倒しでバージョンアップキャンペーンを展開した結果、Windows XP マイグレーションとの相乗効果もあり、前年同期に比べ、顕著な売上の伸びを達成することができました。消費税バージョンアップの早割キャンペーンを実施した結果、9月末にようやく特需の効果が出ております。

ストックビジネスの中核である「保守契約」売上や、導入指導、システムインストールサービスの「ユースウェア」売上は、消費税特需の影響もあり堅調に推移しています。

当社製品機能を補完する「ソリューション製品」売上も景況感の回復とともに旺盛なIT投資意欲に後押しされ順調に推移しており、業績に大きく貢献しております。

またPCAブランドの再強化を図るべく開始した「TVコマーシャル」は、この2年間でスポット、番組提供の両面から、5月連休、8月盆休み期間、年末年始の期間に集中的に投入しました。この結果、会社認知度、ブランド認知度は、「TVコマーシャル」開始前より大幅に向上し、当初の思惑通り順調にブランド浸透が図られている結果となっています。今後も「TVコマーシャル」の大量投入は継続し、顧客層に向けてのPCAブランドのアピールを図ります。

連結対象会社の株式会社ケーイーシーは、当社製品の導入指導、運用保守、ネットワーク環境構築等の事業を主体としており、当社の連結業績に寄与しています。同じく株式会社マックスシステムは、「医療情報システム」ベンダーであり医事会計（レセプトシステム）、電子カルテ、オーダーリングシステム等医療系基幹システムの開発、販売を行っており、これも当社の連結業績に寄与しています。同じくクロノス株式会社は、就業管理システム及びタイムレコーダーの開発、販売を行っており、これも当社の連結業績に寄与しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 3,943百万円（前年同期比19.4%増）、営業損失 243百万円（前年同期は営業損失 124百万円）、経常損失 228百万円（前年同期は経常損失 107百万円）、四半期純損失 161百万円（前年同期は四半期純損失 64百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における財政状態（連結）の変動状況におきましては、当社グループの財政状態に重要な影響を及ぼすような事象等の特段の記載を要するものはございません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

詳細につきましては、平成25年10月23日に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、第2四半期会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,621	5,655
受取手形及び売掛金	1,443	1,292
たな卸資産	33	75
繰延税金資産	693	805
その他	71	106
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	8,862	7,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,390	1,433
土地	2,794	2,794
その他（純額）	45	75
有形固定資産合計	4,230	4,304
無形固定資産		
のれん	312	246
その他	409	609
無形固定資産合計	722	856
投資その他の資産		
その他	1,035	1,185
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,034	1,185
固定資産合計	5,987	6,346
資産合計	14,849	14,281
負債の部		
流動負債		
買掛金	127	123
前受収益	1,363	1,292
未払法人税等	151	38
賞与引当金	216	183
役員賞与引当金	19	8
その他	743	619
流動負債合計	2,621	2,266
固定負債		
長期前受収益	140	154
長期未払金	157	134
退職給付引当金	666	691
役員退職慰労引当金	138	121
資産除去債務	—	40
固定負債合計	1,102	1,142
負債合計	3,724	3,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	890	890
資本剰余金	1,919	1,919
利益剰余金	9,197	8,824
自己株式	△1,038	△1,039
株主資本合計	10,968	10,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	150
その他の包括利益累計額合計	28	150
少数株主持分	128	127
純資産合計	11,125	10,872
負債純資産合計	14,849	14,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,302	3,943
売上原価	1,182	1,429
売上総利益	2,119	2,513
販売費及び一般管理費	2,243	2,756
営業損失(△)	△124	△243
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	3	4
受取賃貸料	6	7
その他	4	2
営業外収益合計	17	16
営業外費用		
固定資産除却損	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常損失(△)	△107	△228
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△107	△231
法人税等	△44	△71
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△62	△159
少数株主利益	1	1
四半期純損失(△)	△64	△161

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△62	△159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	122
その他の包括利益合計	△15	122
四半期包括利益	△77	△36
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79	△38
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。